

決 済 動 向

—平成6年1月—

(平成6年3月10日)

1. 日本銀行における決済関連計数

1月の日銀当座預金受払(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースでは3.0万件(前年比+1.6%)、金額ベースでは328.2兆円(前年比+11.5%)となった(6年1月17日に内国為替制度変更があったが、従来のベースで試算した金額の前年比は+14.4%)。金額の内訳をみると、当座預金振替は301.7兆円(前年比+15.6%)、一方、民間の集中決済制度にかかる資金決済では20.1兆円(前年比△20.2%)となったが、従来のベースで試算した民間の集中決済制度にかかる資金決済は前年比プラス(+13.1%)となっている。

1月の国債の決済件数・金額をみると、登録国債の移転登録(片道ベース、月中合計)は、件数ベースで3.9万件(前年比+45.5%)、金額ベースで128.0兆円(前年比+53.8%)となった。

また、日本銀行における振込国債の口座振替(片道ベース、月中合計)は、件数ベースでは3.3万件(前年比+16.7%)、金額ベースでは169.2兆円(前年比+13.3%)となった。

1月の国庫金取扱高(受払合計、1営業日平均)は、件数ベースで47.7万件(前年比+1.7%)、金額ベースで4.2兆円(前年比△8.8%)となった。

1月の日本銀行における銀行券受払高(月

中合計)は受入高11.1兆円(前年比+15.0%)、支払高5.5兆円(前年比+2.3%)となった。

2. 民間決済システム関連計数

民間決済システムにおける取扱金額・件数をみると、1月の手形交換高(東京手形交換所、片道ベース、1営業日平均)は、枚数ベースでは47.9万枚(前年比+19.8%)、金額ベースでは11.0兆円(前年比+5.9%)となった。

1月の全銀システム取扱高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは327.0万件(前年比+8.5%)、金額ベースでは7.2兆円(前年比+14.8%)となった。なお、同計数は内国為替制度変更(6年1月17日)の影響を受けない従来のベース。

1月の外為円決済交換高(片道ベース、1営業日平均)は、件数ベースでは2.8万件(前年比+32.1%)、金額ベースでは27.6兆円(前年比+27.9%)とともに前年を上回った。

3. その他

1月の東京金融先物市場の取引数量(円短期金利先物、片道ベース、1営業日平均)は18.4万契約(前年比3.0倍)、月末の建玉数量は117.1万契約(前年比2.4倍)と引き続き前年を上回った。

(信用機構局)